



木童通信 vol.34

平成23年8月発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00
close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ1F

TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126

URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★木童に寄せられた質問と答え

東京オペラシティショールームに来られた方や、建築現場等で受けた質問です。

Q:杉は何処の産地のものが良いのですか?

A:秋田杉、吉野杉などの有名産地がありますが、目の込んだ柾目材などの高級材が主で和室などの造作材に優れています。木童としては建築用材には、見た目よりも乾燥材であることを重視しています。単に含水率を落とすだけではなく、安定した品質であること。その見極め方は、製造している工場単位であって、産地ではありません。多少高くとも、しっかりとした考え方の元に製造してくれる工場と連携してやっていきたいと考えています。



〈天然秋田杉と記念撮影〉

Q:天然乾燥材と人工乾燥材とどちらが良いのですか?

A:もちろん、環境に負荷を与えない天然乾燥材が良いと思います。しかし、住宅に断熱性能や温熱環境を求められた場合は、寸法安定性を担保出来ている人工乾燥材が住まい手にとって有益だと考えています。

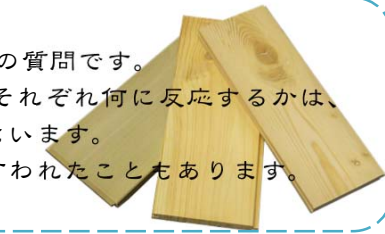
天然乾燥材は、経年変化での色変化は美しいのですが、寸変化も起こりやすいのです。木材は放置していると乾燥していきますが、ある一定領域からは、水分が落ちにくくなる事は良く知られています。杉材の場合、長さ4M×120mm×240mmの梁材を327日放置しても、平均含水率27.9%、最大55.7%までにしか含水率は落ちません、まして並行含水率近くの15%前後まで落とすには、さらに1～2年かかると思えます。木材の収縮は含水率40%を切ったあたりから起こり、割れが発生したりします。

建築する家によって必要とされる木材の大きさはそれぞれ違います。それを天然乾燥材で手に入れるためには、在庫を持ってきている生産者を探すか、これぞと思った生産者に建築より数年前にオーダーする必要があります。

よく言われる過乾燥によって脆くなった人工乾燥材は論外ですが、天然乾燥材でも人工乾燥材でも住まい手の要望に合わせた材を適材適所の考えの元、しっかりと乾燥した材を供給したいと考えています。

Q:化学物質過敏症なのですが大丈夫な木は?

A:「モミを薦められたが、自分には合わない気がする」と相談を受けた住まい手さんからの質問です。誰かに対して効果があったことから推奨しているかと思いますが、化学物質過敏症の方はそれぞれ何に反応するかは、まったく個人差があります。土佐梅で楽になった方もいれば、ホウノキが大丈夫だった方もいます。杉材でも、乾燥方法や産地によって匂いが違ったり感じ、駄目なものや許せるものがあると言われたこともあります。化学物質過敏症の方には、様々な樹種サンプルを試してもらい決める必要があります。



Q:桐油には毒性があるとネットで見ましたが、木童の桐油は大丈夫でしょうか?

A:エレオステアリン酸など**毒性**を持つ不飽和脂肪酸を含むため、食用には出来ない事を言われているのだと思います。桐油は乾性油と言われる塗装に適した植物油ですが、このエレオステアリン酸が貢献しています。また、紙や木材の食害に対しても効果が期待できると言われ、昔から油紙や番傘にも使用されてきました。

ある塗料を塗ったら滑って転んだなんて話を聞きますが、塗料は成分のイメージだけではなく、「性能」や「安全性」を考慮して選択すべきだと思います。木童の桐油にはワックス成分を添加配合していませんので、滑らず安全です。

また、木童の桐油は**食品衛生試験の溶出試験にも適合しています**ので、食器に塗っても安全です。

ちなみに、森林浴やアロマテラピーは、木々の精油分の芳香成分が持つ保険休養機能が、医学的見地からも推奨されています。たとえば、針葉樹の葉にはダニを殺す成分があり、宮崎県産の杉の精油にはシロアリを殺したり、ゴキブリを忌避する成分があると報告されていますが、人には害を与えません。(※抽出して飲んだりした場合はこの限りではありません。)

〈主な国産針葉樹の精油成分〉 ※出典:秋田県立大学他編『コンサイス 木材百科』

樹種名	成分名
杉	δ-カジネン、β-オイデスモール、α-レムロレン、クリプトメリオール、
ひのき	α-ピネン、テルピネオール、リモネン、δ-カジネン、δ-カジノール、γ-ムンローロール
ひば	α-ピネン、ツヨブセン、セドロール、ウイドロール、カルバクロール、ヒノキチオール
赤松	α-ピネン、β-ピネン、リモネン、ミルセン、リナロール

★家づくりの現場から ～K邸・川崎市 設計:建築設計六葉舎～

このK邸は、駅からわずかの距離ながら高台にあるためか、静かで風がよく通ります。都会の中にあってこの環境、そして建物からも“余裕”を感じる事のできる貴重な住宅です。建物は2棟に分かれていて、向かって左側が住居部分、右側が茶室になっており、**クリの格子**が美しい回廊でつながっています。(左の写真は茶室部分)。

東北の産地に“寸法の揃ったよく乾いた材がある”という情報をお伝えしたところ、設計の市原さんがこの計画の内と外にうまく取り入れて下さいました。木をふんだんに見せてありますが、木造ができない地域という事で、茶室までRC造とは...なんと不思議。

柱や梁が見える住居に関わることが多いので、コンクリート打ち放しの壁は非常に新鮮に映ります。内装は杉がメインで、**床には相生杉の30mmと15mmを、階段・建具・キッチンカウンターには源平パネル**を使っていただきました。“杉=和風”とイメージされがちですが、“**設計力**”と“**材を使い分ける**”ことによって、とてもモダンな建物となっていました。**床や建具には木童の桐油を、外部の格子や軒天には超・撥水**と、仕上げの塗料も使い分けてあります。



★家づくりの現場から ～H邸・小金井市 設計:ビルトロジック～

「Hさんは素材の産地や品質にこだわりのある方だから木童さんを紹介するね」とビルトロジックさんから紹介されたHさん一家。ショールームで床材の説明をすると「これすごい!」「これ好き!」等々、とても楽しそうに聞いていただいたのを思い出します。

結果、家族団らんのリビングには**相生杉30mm**、1Fの個室水廻りには**能登ヒバ**、外部のデッキやフェンスには耐久性の高い**クリ材**を選ばれ、ほぼ木童のオススメする適材適所の家になっています。

プランは2Fのリビングに階段を挟んで、小上がりの畳スペース、写真奥の木の壁の裏は個室になっています。H邸の床は節有り材、壁も2面が杉の節有り材を使用。天井は梁現わし(こちらも節有り)ですが、モクモクした感じもなくスッキリしています。内装の壁に木を使うことは(意匠的に)難易度が高く、積極的に採用されるケースは少なく逆で新鮮でした。



★Kさん家の家具

構造材を納材したK邸。しかし、建築法規上現わしにすることができないと聞いていたので、完成時には跡形が見えないなあ、残念...と思っていたら、住まい手さんからダイニングテーブルのご注文をいただきました!

なんと偶然にも住まい手のKさんと家具の作り手Kさんは同じ名字の御縁。

家具工場のKさんは「親近感わきますね」と一段と製作に力が入ったそうです(笑)。家も家具も道具や材料の良し悪しはもちろんあると思いますが、最終的には職人さんの**心意気**が仕上がりに影響してくるもの。そういう意味ではこのK邸の家具は気合の入った仕上がりになっていると言っているのではないのでしょうか。

木童の扱う家具は木材同様、職人の顔が見えてしっかりと想いが伝わるモノと自負しています。製作時間はいただきますが、工場での量産品にはない長く使えて愛着わく家具をぜひご堪能下さい。



〈設計:瀬野和広+設計アトリエ〉

木童 NEWS ラインナップ

■夏休みのお知らせ■

8/13 (土)～15 (月) までお休みをいただきます。この期間にご予約もお受けできませんのでご了承ください。

企画展のご案内

■第105回企画展 8/1 (月)～6 (土)「おびのびの家 チャコウッドすだれハウス」NPO 法人木の家だいすきの会

■第106回企画展 8/8 (月)～27 (土)「ワークス展 (仮)」設計機構ワークス

8/27 (土) ワークショップ「箱庭作り」理想の住まいを箱庭で再現してみませんか?はさみが使えるお子様なら参加OKです!

1回目: 10:30～12:00 2回目: 14:00～15:30 ※参加費:500円(お菓子付) ※要予約(各回6組)

■第107回企画展 8/29 (月)～9/3 (土)「おびのびの家 第4弾 (仮)」NPO 法人木の家だいすきの会

■第108回企画展 9/5 (月)～24 (土)「家づくりの会展3 (仮)」家づくりの会

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。